

挑戦し続ける、無数の夢を追いかけて。

「宇宙ホテル」や「宇宙エレベーター」がついに実現した。人類はまた一步、宇宙に近づいた。

今週の Challenger は、宇宙産業の第一人者であり、これらプロジェクトを遂行させた男。株式会社 Dreamers&Doers 最高責任者、深野真人氏にインタビューを行った。

プロジェクト始めた
キッカケは？

プロジェクト始めた
キッカケは？

たくさんのこと
こなす術は？

やりたいことは山ほどあります。
人類の火星移住、宇宙をさらに親し
みやすいものにする。宇宙産業だけ
ではありません。得意なダンスを活
かし、エンタメ方面でも人々を元気
にしたい。テクノロジーを活用し、
過疎化した地域のネットワークを
復活させたい。挑戦する若者へのリ
ソース張り（投資）をして夢を追う
きいてるうちに好きなこと全部や
ろう」なので、ひたすら今やりたい
ことをやっているだけです。

小さい頃から、夜空の星を眺
めることが好きで、いつか宇宙
へ行ってみたいなど夢を膨らま
せていました。高校二年生の頃、
自分と同じような宇宙が大好き
な人に出会い、大学に入つてそ
の友達と一緒に会社を設立しま
した。

私が考えるには、地球はもう人
類にとって適した大きさではな
くなってしまった。どこに

いても、昼夜を問わず連絡がと
れ、飛行機でぶつとばせばすぐ
に大陸間でも移動できます。だ
から、人類には、次なる場所が必
要なのです。好奇心をくすぐる、
未開の地。それが宇宙です。

地球はどうやってできたの
か、はたまた、我々の住む世界は
どうなっているのか。宇宙には、
まだまだたくさんの謎が眠って
います。好奇心の向かう先へ、少
しでも近づけたらと思い、この
プロジェクトを始めたのです。



宇宙に関してですが、宇宙開発にはものすごく長い時間が必要で、おそらく私が生きている間にはすべての望みが叶うことはないかもしれません。ですが、自分たちの世代で出来ないから諦めるのではなく、次の世代、そしてまたその次の世代へとバトンタッチしていくたらと思っています。

今週の Challenger
深野 真人(26)
株式会社 Dreamers&Doers 代表取締役
内閣府対宇宙戦略委員長。メディアアーティスト。ダンススクールでインストラクターとして中高生に指導。埼玉県鴻巣市で生まれ育ち、公立の小中を出た後、付属の高校から早稲田大学基幹理工学部に進学。現在は同大学院に在学している。

これから展望を
お聞かせください

まだ、これから先がまったく分
からないというのが本音です。で
も、それでいいんです。未来は、
これから創造（想像）していくも
のです。



CHALLENGER